

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2023年7月14日～2050年6月21日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	グローバル・ライフ株式マザーファンドの受益証券
	グローバル・ライフ株式マザーファンド	イ、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。またＤＲ（預託証券）を含みます。） ロ、日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	予想分配金提示型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、下記イ、ロ、およびハ、に基づき分配します。 イ、計算期末の前営業日の基準価額（１万口当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。）が10,000円未満の場合、原則として、分配は行ないません。 ロ、計算期末の前営業日の基準価額が10,000円以上11,000円未満の場合、原則として、分配対象額の範囲内で、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。 ハ、計算期末の前営業日の基準価額が11,000円以上の場合、原則として、分配対象額の範囲内で、当該基準価額に応じ、下記の金額（１万口当り）を分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 (a)11,000円以上12,000円未満の場合・・・200円 (b)12,000円以上13,000円未満の場合・・・300円 (c)13,000円以上14,000円未満の場合・・・400円 (d)14,000円以上の場合・・・500円 なお、当該計算期末に向けて基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わないことがあります。

◇SUZ0348820260622◇

グローバル・ライフ株式ファンド
(資産成長型) (予想分配金提示型)
(愛称：ブライトライフ)

運用報告書（全体版）

資産成長型 第6期（決算日 2026年6月22日）

予想分配金提示型（第11期（決算日 2026年3月23日）
第12期（決算日 2026年6月22日）

（作成対象期間 2025年12月23日～2026年6月22日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の株式等の中から、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9：00～17：00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3488>
<3489>

資産成長型

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株 組入比率	株式先物 比率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
2 期末(2024年 6 月21日)	円 12,824	円 0	% 24.8	13,523	% 25.8	% 97.8	% －	百万円 6,889
3 期末(2024年12月23日)	12,646	0	△ 1.4	14,070	4.0	97.6	－	6,358
4 期末(2025年 6 月23日)	11,839	0	△ 6.4	13,919	△ 1.1	98.3	－	5,672
5 期末(2025年12月22日)	13,753	0	16.2	17,147	23.2	98.6	－	5,957
6 期末(2026年 6 月22日)	15,108	0	9.9	19,774	15.3	98.9	－	5,903

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World Index（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
(<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>)

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

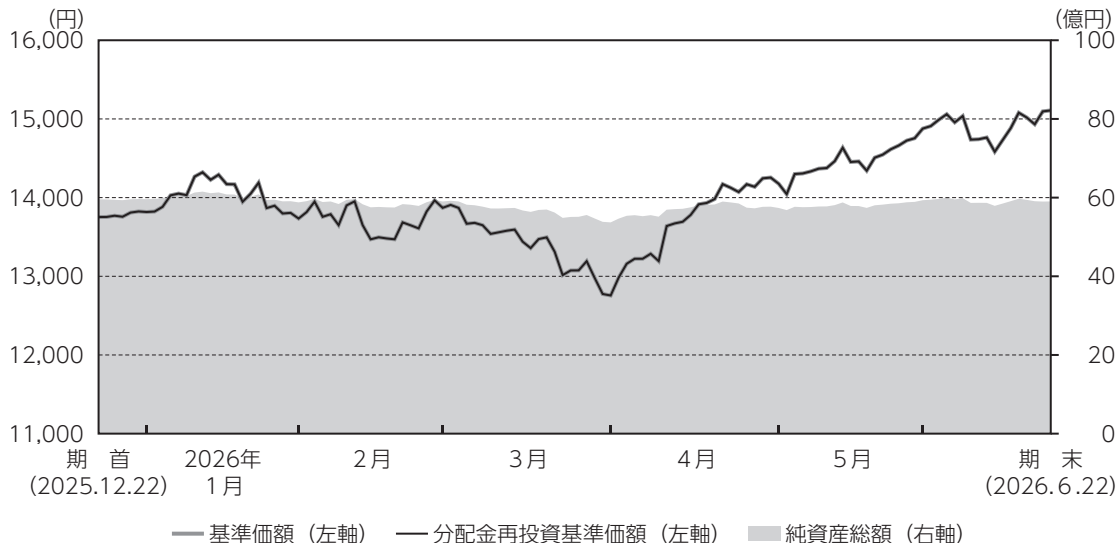
(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期 首：13,753円

期 末：15,108円（分配金0円）

騰落率：9.9%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、株式市場で半導体関連企業の好業績やAI（人工知能）・半導体関連株への投資資金集中を背景に保有銘柄の株価が上昇したこと、さらに米ドルおよびユーロに対する円安の進行がプラス要因となり、上昇しました。

グローバル・ライフ株式ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 式 先 物 率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2025年12月22日	円 13,753	% －	17,147	% －	% 98.6	% －
12月末	13,817	0.5	17,243	0.6	98.3	－
2026年 1 月末	13,734	△0.1	17,421	1.6	98.9	－
2 月末	13,870	0.9	17,833	4.0	98.2	－
3 月末	12,756	△7.2	16,631	△ 3.0	98.7	－
4 月末	14,176	3.1	18,561	8.2	98.6	－
5 月末	14,877	8.2	19,466	13.5	98.8	－
(期末) 2026年 6 月22日	15,108	9.9	19,774	15.3	98.9	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.12.23～2026.6.22)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げの決定や、半導体関連企業の好業績などが好感され、上昇しました。2026年1月以降は、経済指標の改善やインフレの沈静化が好感された一方で、「A I（人工知能）脅威論」による情報サービス・ソフトウェア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などから、おおむね横ばいで推移しました。3月には、米国とイスラエルがイランへの軍事作戦を開始し、イランによってホルムズ海峡が事実上封鎖されたことなどから先行きへの懸念が強まり大幅に下落しました。4月以降は、A I・半導体関連株への投資資金集中により急反発し、米国とイランの和平交渉の進展期待を背景に上昇し、当作成期末を迎えました。

■為替相場

対円為替相場は、米ドル、ユーロともに上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より方向感のない展開が続きました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高が進行しました。2月には、米国財務長官による強い米ドル政策を支持する発言や、高市首相が日銀の利上げに難色を示したとの報道などを受けて、円安となりました。3月は、中東情勢の緊迫化でリスク回避姿勢が強まり、幅広い通貨に対して米ドルが買われる中、原油価格の急騰によって日本の貿易収支悪化の思惑が強まったことで円安となりました。4月末から5月上旬には、日本が円買いの為替介入を実施したことで、円高が進行しました。5月中旬にはホルムズ海峡の封鎖長期化への懸念による原油高が円安米ドル高要因となり、5月下旬から当作成期末にかけては、米国とイランの戦闘終結期待による市場心理の改善などを背景に、円安となりました。

ユーロもおおむね米ドルと同様の推移となり、対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

運用にあたっては、“いのち”にまつわる2つのテーマに関連する企業の中から、E S Gスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

ポートフォリオについて

(2025.12.23～2026.6.22)

■当ファンド

当作成期を通じて「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドは、運用にあたって、カンドリアム・エス・シー・エー（以下、「カンドリアム」ということがあります。）から助言を受けています。

運用につきましては、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」という2つのテーマに着目し、それぞれのテーマに関連した優れた成長機会を有する企業に投資を行うことで、信託財産の成長をめざしました。当作成期においては、特に「いのちを守る」に関連するサブテーマ「医療」や、「いのちを輝かせる」に関連するサブテーマ「利便性の向上」を中心に投資を行いました。セクター別では、情報技術セクター、ヘルスケアセクター、資本財・サービスセクター、地域別では、米国や欧州を中心に投資しました。個別銘柄では、ALPHABET INC CLASS A（米国）、NVIDIA CORP（米国）、ASML HOLDING NV（オランダ）など、AI（人工知能）普及の恩恵を受ける企業を中心に組み入れました。

当ファンドは、「ESGファンド＊」です。

- ＊ESGファンドとは、ESGを投資対象選定の主要な要素としており、その内容に関する開示が可能なファンドです。
- ＊当ファンドは、経済的リターンと並行して社会や環境にポジティブなインパクトをもたらす、いわゆる「社会的リターン」の獲得をめざすものではありません。

○ESGの観点により選定した銘柄への投資比率について

- ポートフォリオの75%以上がサステナブル投資銘柄（※1）となるようにポートフォリオを構築します。
- （※1）サステナブル投資銘柄とは、カンドリアムが独自で付与したESGレーティング10段階のうち上位5段階以上の銘柄のことを指します。
- ◆ポートフォリオ組入銘柄のESGレーティングの内訳

	2025年 12月末時点	2026年 1月末時点	同 2月末時点	同 3月末時点	同 4月末時点	同 5月末時点
サステナブル投資銘柄	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
上記以外	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(注) 比率はポートフォリオに対する比率です。
(出所：カンドリアム)

- 世界株式（MSCI ACWI）対比でE S Gスコア（※ 2）が上回った状態を維持することを目標とします。

（※ 2） E S Gスコアとは、カンドリアム独自の企業E S G分析に基づき、分析結果を0から100で得点化したものです。

◆ E S Gスコアの比較

	2025年 12月末時点	2026年 1月末時点	同 2月末時点	同 3月末時点	同 4月末時点	同 5月末時点
当ファンド	55	55	55	55	55	55
世界株式（MSCI ACWI）	50	50	50	49	50	50

（出所：カンドリアム）

- 世界株式（MSCI ACWI）対比で売上高当りの二酸化炭素排出量（カーボンインテンシティ）が30%以上下回った状態を維持することを目標とします。

◆カーボンインテンシティの比較

	2025年 12月末時点	2026年 1月末時点	同 2月末時点	同 3月末時点	同 4月末時点	同 5月末時点
当ファンド	85	87	103	107	107	103
世界株式（MSCI ACWI）	169	177	176	178	177	173
世界株式（MSCI ACWI）に対する当ファンドの比率	△49.5%	△51.0%	△41.5%	△39.8%	△39.7%	△40.4%

（注）単位はtCO₂e／百万EUR（売上高）です。

（出所：カンドリアム）

○カンドリアム・エス・シー・エーがスチュワードシップ方針に沿って実施した行動について

カンドリアムは、ファンドおよびポートフォリオマネジメントの活動において、可能な限りエンゲージメントを投資戦略に組み込んでおり、戦略、財務・非財務パフォーマンス、リスク、資本構成、社会・環境への影響およびコーポレート・ガバナンスなどの関連事項について、投資先企業をモニタリングしています。また、働きかけが有用と判断した場合、専任のスチュワードシップチームが投資先企業との対話を行い、議決権およびその他の株式に付随する権利を行使します。

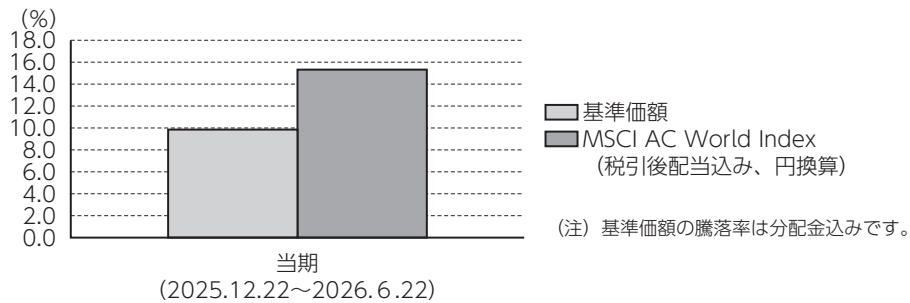
当作成期においても、顧客にとって最善の利益のために行動し、企業の優れたコーポレート・ガバナンスの実践を促し、企業内の変化を促進するために建設的な対話および議決権行使を実施しました。

カンドリアムのスチュワードシップ方針やスチュワードシップ活動の詳細については、カンドリアムのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.candriam.com/en/professional/insight-overview/publications/>

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2025年12月23日 ～2026年6月22日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	5,108

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

運用にあたっては、“いのち”にまつわる2つのテーマに関連する企業の中から、ESGスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2025.12.23~2026.6.22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	126円	0.897%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,997円です。
（投 信 会 社）	(70)	(0.499)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(54)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	4	0.027	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(4)	(0.027)	
有価証券取引税	2	0.018	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(2)	(0.018)	
そ の 他 費 用	1	0.007	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	133	0.948	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

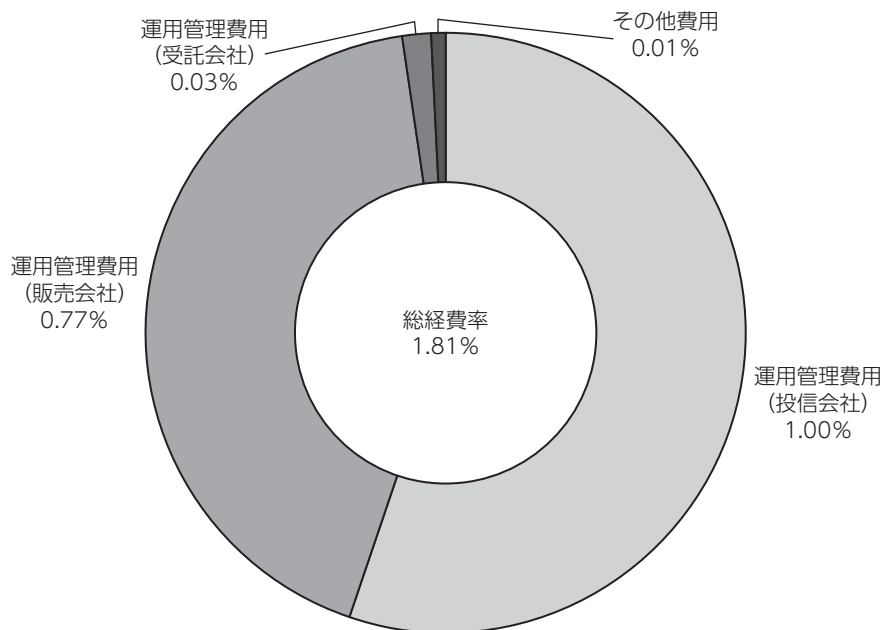
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.81%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年12月23日から2026年6月22日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・ライフ 株式マザーファンド	13,745	20,000	449,054	665,600

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年12月23日から2026年6月22日まで)

項 目	当 期
	グローバル・ライフ株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,769,112千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,849,719千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.35

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2025年12月23日から2026年6月22日まで)

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害 関係人との 取引状況 B	B／A		うち利害 関係人との 取引状況 D	D／C	
株式	百万円 1,054	百万円 145	% 13.8	百万円 1,714	百万円 —	% —
為替予約	894	—	—	1,739	—	—
コール・ローン	6,696	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合72.8%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2025年12月23日から2026年6月22日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,594千円
うち利害関係人への支払額 (B)	127千円
(B)／(A)	8.0%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末
	口 数	口 数 評 価 額
	千口	千円
グローバル・ライフ株式マザーファンド	4,134,996	3,699,688 5,902,112

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年6月22日現在

項 目	当 期 末
	評 価 額 比 率
	千円 %
グローバル・ライフ株式マザーファンド	5,902,112 97.8
コール・ローン等、その他	132,705 2.2
投資信託財産総額	6,034,818 100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝161.60円、1イギリス・ポンド＝213.60円、1スイス・フラン＝199.88円、1デンマーク・クローネ＝24.78円、1ユーロ＝185.18円です。

(注3) グローバル・ライフ株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（7,888,321千円）の投資信託財産総額（8,257,159千円）に対する比率は、95.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年6月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,034,818,662円
コール・ローン等	57,505,962
グローバル・ライフ株式マザーファンド(評価額)	5,902,112,700
未収入金	75,200,000
(B) 負債	131,551,794
未払解約金	79,132,687
未払信託報酬	52,259,385
その他未払費用	159,722
(C) 純資産総額(A－B)	5,903,266,868
元本	3,907,321,086
次期繰越損益金	1,995,945,782
(D) 受益権総口数	3,907,321,086口
1万口当り基準価額(C／D)	15,108円

* 期首における元本額は4,331,945,387円、当作成期間中における追加設定元本額は71,099,497円、同解約元本額は495,723,798円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,108円です。

■損益の状況

当期 自2025年12月23日 至2026年6月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	98,828円
受取利息	98,828
(B) 有価証券売買損益	580,228,442
売買益	603,632,854
売買損	△ 23,404,412
(C) 信託報酬等	△ 52,419,107
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	527,908,163
(E) 前期繰越損益金	1,280,305,049
(F) 追加信託差損益金	187,732,570
(配当等相当額)	(131,657,868)
(売買損益相当額)	(56,074,702)
(G) 合計(D＋E＋F)	1,995,945,782
次期繰越損益金(G)	1,995,945,782
追加信託差損益金	187,732,570
(配当等相当額)	(131,657,868)
(売買損益相当額)	(56,074,702)
分配準備積立金	1,808,213,212

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：14,530,058円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	88,344円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	527,819,819
(c) 収益調整金	187,732,570
(d) 分配準備積立金	1,280,305,049
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	1,995,945,782
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	1,995,945,782
(h) 受益権総口数	3,907,321,086口

予想分配金提示型

最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 率 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
3 期末(2024年 3 月21日)	11,395	200	13.9	12,330	14.7	93.9	－	1,919
4 期末(2024年 6 月21日)	12,179	300	9.5	13,523	9.7	96.9	－	2,122
5 期末(2024年 9 月24日)	11,008	200	△ 8.0	12,806	△ 5.3	95.9	－	1,839
6 期末(2024年12月23日)	11,601	200	7.2	14,070	9.9	96.7	－	2,040
7 期末(2025年 3 月21日)	10,594	100	△ 7.8	13,410	△ 4.7	98.0	－	1,964
8 期末(2025年 6 月23日)	10,655	100	1.5	13,919	3.8	97.4	－	1,965
9 期末(2025年 9 月22日)	11,340	200	8.3	15,661	12.5	97.8	－	2,072
10期末(2025年12月22日)	11,946	200	7.1	17,147	9.5	96.6	－	2,174
11期末(2026年 3 月23日)	11,117	200	△ 5.3	16,933	△ 1.2	97.9	－	2,022
12期末(2026年 6 月22日)	12,597	300	16.0	19,774	16.8	98.0	－	2,300

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC World Index（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World Index（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
(<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>)

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

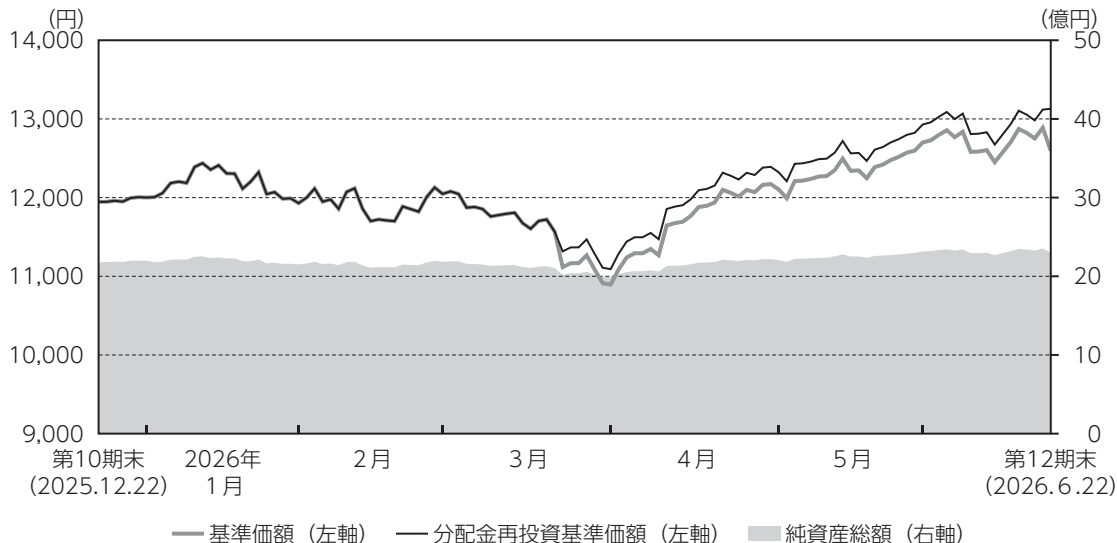
(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第11期首：11,946円

第12期末：12,597円（既払分配金500円）

騰落率：9.9%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、株式市場で半導体関連企業の好業績やAI（人工知能）・半導体関連株への投資資金集中を背景に保有銘柄の株価が上昇したこと、さらに米ドルおよびユーロに対する円安の進行がプラス要因となり、上昇しました。

	年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 率 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第11期	(期首) 2025年12月22日	円 11,946	% －	17,147	% －	% 96.6	% －
	12月末	12,001	0.5	17,243	0.6	98.0	－
	2026年 1 月末	11,929	△ 0.1	17,421	1.6	98.4	－
	2 月末	12,047	0.8	17,833	4.0	97.7	－
	(期末) 2026年 3 月23日	11,317	△ 5.3	16,933	△ 1.2	97.9	－
第12期	(期首) 2026年 3 月23日	11,117	－	16,933	－	97.9	－
	3 月末	10,895	△ 2.0	16,631	△ 1.8	98.4	－
	4 月末	12,104	8.9	18,561	9.6	98.4	－
	5 月末	12,701	14.2	19,466	15.0	98.5	－
	(期末) 2026年 6 月22日	12,897	16.0	19,774	16.8	98.0	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.12.23～2026.6.22)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げの決定や、半導体関連企業の好業績などが好感され、上昇しました。2026年1月以降は、経済指標の改善やインフレの沈静化が好感された一方で、「A I（人工知能）脅威論」による情報サービス・ソフトウェア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などから、おおむね横ばいで推移しました。3月には、米国とイスラエルがイランへの軍事作戦を開始し、イランによってホルムズ海峡が事実上封鎖されたことなどから先行きへの懸念が強まり大幅に下落しました。4月以降は、A I・半導体関連株への投資資金集中により急反発し、米国とイランの和平交渉の進展期待を背景に上昇し、当作成期末を迎えました。

■為替相場

対円為替相場は、米ドル、ユーロともに上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より方向感のない展開が続きました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高が進行しました。2月には、米国財務長官による強い米ドル政策を支持する発言や、高市首相が日銀の利上げに難色を示したとの報道などを受けて、円安となりました。3月は、中東情勢の緊迫化でリスク回避姿勢が強まり、幅広い通貨に対して米ドルが買われる中、原油価格の急騰によって日本の貿易収支悪化の思惑が強まったことで円安となりました。4月末から5月上旬には、日本が円買いの為替介入を実施したことで、円高が進行しました。5月中旬にはホルムズ海峡の封鎖長期化への懸念による原油高が円安米ドル高要因となり、5月下旬から当作成期末にかけては、米国とイランの戦闘終結期待による市場心理の改善などを背景に、円安となりました。

ユーロもおおむね米ドルと同様の推移となり、対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

運用にあたっては、“いのち”にまつわる2つのテーマに関連する企業の中から、E S Gスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

ポートフォリオについて

(2025.12.23～2026.6.22)

■当ファンド

当作成期を通じて「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドは、運用にあたって、カンドリアム・エス・シー・エー（以下、「カンドリアム」ということがあります。）から助言を受けています。

運用につきましては、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」という2つのテーマに着目し、それぞれのテーマに関連した優れた成長機会を有する企業に投資を行うことで、信託財産の成長をめざしました。当作成期においては、特に「いのちを守る」に関連するサブテーマ「医療」や、「いのちを輝かせる」に関連するサブテーマ「利便性の向上」を中心に投資を行いました。セクター別では、情報技術セクター、ヘルスケアセクター、資本財・サービスセクター、地域別では、米国や欧州を中心に投資しました。個別銘柄では、ALPHABET INC CLASS A（米国）、NVIDIA CORP（米国）、ASML HOLDING NV（オランダ）など、AI（人工知能）普及の恩恵を受ける企業を中心に組み入れました。

当ファンドは、「ESGファンド＊」です。

- ＊ESGファンドとは、ESGを投資対象選定の主要な要素としており、その内容に関する開示が可能なファンドです。
- ＊当ファンドは、経済的リターンと並行して社会や環境にポジティブなインパクトをもたらす、いわゆる「社会的リターン」の獲得をめざすものではありません。

○ESGの観点により選定した銘柄への投資比率について

- ポートフォリオの75%以上がサステナブル投資銘柄（※1）となるようにポートフォリオを構築します。
- （※1）サステナブル投資銘柄とは、カンドリアムが独自で付与したESGレーティング10段階のうち上位5段階以上の銘柄のことを指します。
- ◆ポートフォリオ組入銘柄のESGレーティングの内訳

	2025年 12月末時点	2026年 1月末時点	同 2月末時点	同 3月末時点	同 4月末時点	同 5月末時点
サステナブル投資銘柄	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
上記以外	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(注) 比率はポートフォリオに対する比率です。
(出所：カンドリアム)

- 世界株式（MSCI ACWI）対比でE S Gスコア（※2）が上回った状態を維持することを目標とします。

（※2）E S Gスコアとは、カンドリアム独自の企業E S G分析に基づき、分析結果を0から100で得点化したものです。

◆E S Gスコアの比較

	2025年 12月末時点	2026年 1月末時点	同 2月末時点	同 3月末時点	同 4月末時点	同 5月末時点
当ファンド	55	55	55	55	55	55
世界株式（MSCI ACWI）	50	50	50	49	50	50

（出所：カンドリアム）

- 世界株式（MSCI ACWI）対比で売上高当りの二酸化炭素排出量（カーボンインテンシティ）が30%以上下回った状態を維持することを目標とします。

◆カーボンインテンシティの比較

	2025年 12月末時点	2026年 1月末時点	同 2月末時点	同 3月末時点	同 4月末時点	同 5月末時点
当ファンド	85	87	103	107	107	103
世界株式（MSCI ACWI）	169	177	176	178	177	173
世界株式（MSCI ACWI）に対する当ファンドの比率	△49.5%	△51.0%	△41.5%	△39.8%	△39.7%	△40.4%

（注）単位はtCO₂e／百万EUR（売上高）です。

（出所：カンドリアム）

○カンドリアム・エス・シー・エーがスチュワードシップ方針に沿って実施した行動について

カンドリアムは、ファンドおよびポートフォリオマネジメントの活動において、可能な限りエンゲージメントを投資戦略に組み込んでおり、戦略、財務・非財務パフォーマンス、リスク、資本構成、社会・環境への影響およびコーポレート・ガバナンスなどの関連事項について、投資先企業をモニタリングしています。また、働きかけが有用と判断した場合、専任のスチュワードシップチームが投資先企業との対話を行い、議決権およびその他の株式に付随する権利を行使します。

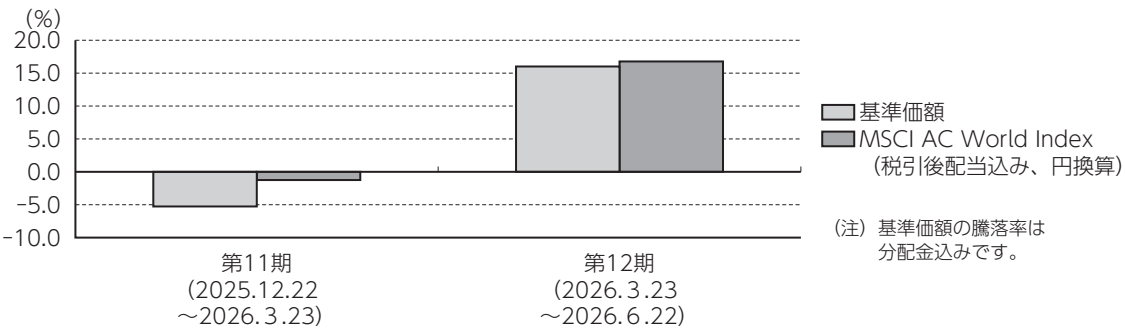
当作成期においても、顧客にとって最善の利益のために行動し、企業の優れたコーポレート・ガバナンスの実践を促し、企業内の変化を促進するために建設的な対話および議決権行使を実施しました。

カンドリアムのスチュワードシップ方針やスチュワードシップ活動の詳細については、カンドリアムのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.candriam.com/en/professional/insight-overview/publications/>

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第11期 2025年12月23日 ～2026年3月23日	第12期 2026年3月24日 ～2026年6月22日
当期分配金（税込み）（円）	200	300
対基準価額比率（％）	1.77	2.33
当期の収益（円）	—	300
当期の収益以外（円）	200	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,711	2,597

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第11期	第12期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円	✓ 46.11円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	✓ 1,101.38
(c) 収益調整金	570.65	630.74
(d) 分配準備積立金	✓ 1,340.55	1,119.02
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,911.20	2,897.27
(f) 分配金	200.00	300.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,711.20	2,597.27

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「グローバル・ライフ株式マザーファンド」の受益証券を組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■グローバル・ライフ株式マザーファンド

当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

運用にあたっては、“いのち”にまつわる2つのテーマに関連する企業の中から、ESGスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第11期～第12期 (2025.12.23～2026.6.22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	108円	0.897%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,044円です。
(投 信 会 社)	(60)	(0.499)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	3	0.027	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0.027)	
有価証券取引税	2	0.018	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.018)	
そ の 他 費 用	1	0.007	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	114	0.948	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

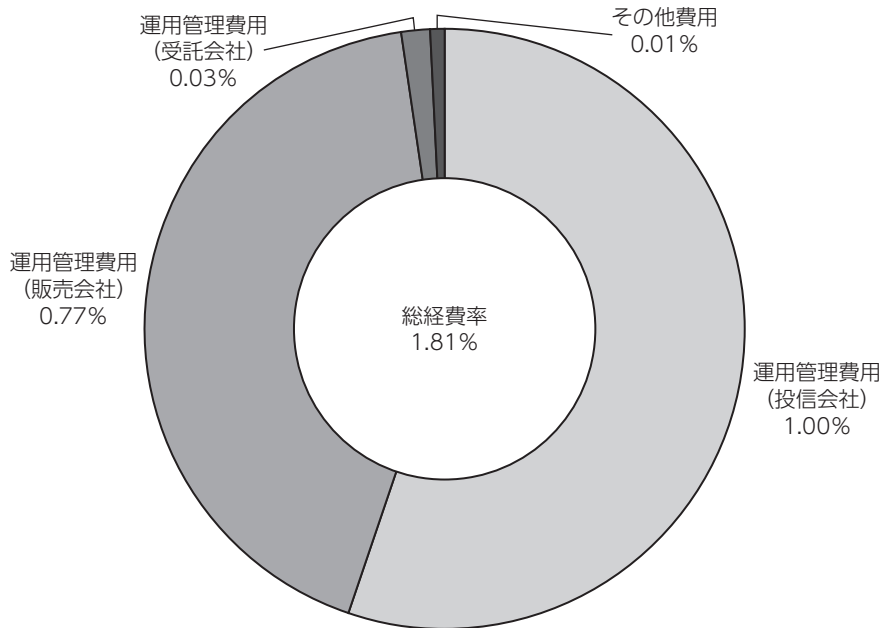
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.81%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年12月23日から2026年6月22日まで)

決 算 期	第 11 期 ～ 第 12 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・ライフ株式マザーファンド	88,307	127,100	138,684	207,600

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年12月23日から2026年6月22日まで)

項 目	第 11 期 ～ 第 12 期
	グローバル・ライフ株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,769,112千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,849,719千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	0.35

(注 1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2025年12月23日から2026年6月22日まで)

決 算 期	第 11 期 ～ 第 12 期					
	買付額等			売付額等		
区 分	A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	1,054	145	13.8	1,714	—	—
為替予約	894	—	—	1,739	—	—
コール・ローン	6,696	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合27.2%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2025年12月23日から2026年6月22日まで)

項 目	第11期～第12期
売買委託手数料総額 (A)	596千円
うち利害関係人への支払額 (B)	48千円
(B)／(A)	8.2%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第10期末	第 12 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・ライフ株式マザーファンド	1,479,194	1,428,817	2,279,392

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年6月22日現在

項 目	第 12 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ライフ株式マザーファンド	2,279,392	96.4
コール・ローン等、その他	85,985	3.6
投資信託財産総額	2,365,377	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝161.60円、1イギリス・ポンド＝213.60円、1スイス・フラン＝199.88円、1デンマーク・クローネ＝24.78円、1ユーロ＝185.18円です。
(注 3) グローバル・ライフ株式マザーファンドにおいて、第12期末における外貨建純資産 (7,888,321千円) の投資信託財産総額 (8,257,159千円) に対する比率は、95.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年3月23日)、(2026年6月22日)現在

項 目	第 11 期 末	第 12 期 末
(A) 資産	2,068,712,557円	2,365,377,834円
コール・ローン等	16,175,151	85,985,103
グローバル・ライフ株式マザーファンド(評価額)	2,001,537,406	2,279,392,731
未収入金	51,000,000	－
(B) 負債	46,145,806	64,851,372
未払収益分配金	36,386,896	54,786,309
未払解約金	－	94,725
未払信託報酬	9,729,196	9,910,362
その他未払費用	29,714	59,976
(C) 純資産総額(A－B)	2,022,566,751	2,300,526,462
元本	1,819,344,800	1,826,210,315
次期繰越損益金	203,221,951	474,316,147
(D) 受益権総口数	1,819,344,800口	1,826,210,315口
1万口当り基準価額(C／D)	11,117円	12,597円

* 当作成期首における元本額は1,820,248,223円、当作成期間（第11期～第12期）中における追加設定元本額は92,620,824円、同解約元本額は86,658,732円です。

* 第12期末の計算口数当りの純資産額は12,597円です。

■損益の状況

第11期 自2025年12月23日 至2026年3月23日
第12期 自2026年3月24日 至2026年6月22日

項 目	第 11 期	第 12 期
(A) 配当等収益	26,412円	19,160円
受取利息	26,412	19,160
(B) 有価証券売買損益	△104,945,611	332,416,359
売買益	921,514	335,100,730
売買損	△105,867,125	△ 2,684,371
(C) 信託報酬等	△ 9,758,910	△ 9,940,624
(D) 当期損益金(A + B + C)	△114,678,109	322,494,895
(E) 前期繰越損益金	243,892,553	91,419,551
(F) 追加信託差損益金	110,394,403	115,188,010
(配当等相当額)	(103,821,447)	(108,185,276)
(売買損益相当額)	(6,572,956)	(7,002,734)
(G) 合計(D + E + F)	239,608,847	529,102,456
(H) 収益分配金	△ 36,386,896	△ 54,786,309
次期繰越損益金(G + H)	203,221,951	474,316,147
追加信託差損益金	110,394,403	115,188,010
(配当等相当額)	(103,821,447)	(108,185,276)
(売買損益相当額)	(6,572,956)	(7,002,734)
分配準備積立金	207,505,657	359,128,137
繰越損益金	△114,678,109	－

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：5,435,718円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 11 期	第 12 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	8,420,899円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	201,135,313
(c) 収益調整金	103,821,447	115,188,010
(d) 分配準備積立金	243,892,553	204,358,234
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	347,714,000	529,102,456
(f) 分配金	36,386,896	54,786,309
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	311,327,104	474,316,147
(h) 受益権総口数	1,819,344,800口	1,826,210,315口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 11 期	第 12 期
1 万口当り分配金（税込み）	200円	300円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

グローバル・ライフ株式マザーファンド

運用報告書 第3期（決算日 2026年6月22日）

（作成対象期間 2025年6月24日～2026年6月22日）

グローバル・ライフ株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

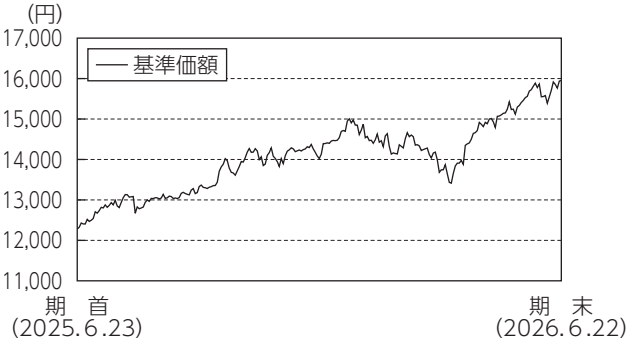
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	イ．日本を含む世界の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。またDR（預託証券）を含みます。） ロ．日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券（上場予定および店頭登録予定を含みます。）
株 式 組 入 制 限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算)		株 組 比	式 入 率	株 先 比	式 物 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率				
期首)2025年6月23日	12,279	%	13,919	%	%	%	%	%
6月末	12,520	2.0	14,213	2.1	98.2	—	—	—
7月末	13,077	6.5	14,988	7.7	99.1	—	—	—
8月末	13,083	6.5	15,104	8.5	99.3	—	—	—
9月末	13,328	8.5	15,713	12.9	98.7	—	—	—
10月末	14,267	16.2	16,682	19.9	99.2	—	—	—
11月末	14,288	16.4	16,897	21.4	98.9	—	—	—
12月末	14,465	17.8	17,243	23.9	98.4	—	—	—
2026年1月末	14,400	17.3	17,421	25.2	98.8	—	—	—
2月末	14,563	18.6	17,833	28.1	98.1	—	—	—
3月末	13,414	9.2	16,631	19.5	98.8	—	—	—
4月末	14,930	21.6	18,561	33.3	98.6	—	—	—
5月末	15,690	27.8	19,466	39.9	98.7	—	—	—
期末)2026年6月22日	15,953	29.9	19,774	42.1	98.9	—	—	—

- (注1) 騰落率は期首比。
(注2) MSCI AC World Index (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI AC World Index (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI ACWorld Index (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCI が開発した指数です。本ファンドは、MSCI によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCI は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。 (<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>)
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,279円 期末：15,953円 騰落率：29.9%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期の基準価額は、株式市場で半導体関連企業の好業績やAI（人工知能）・半導体関連株への投資資金集中を背景に保有銘柄の株価が上昇したこと、さらに米ドルおよびユーロに対する円安の進行がプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」

をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げの決定や、半導体関連企業の好業績などが好感され、上昇しました。2026年1月以降は、経済指標の改善やインフレの沈静化が好感された一方で、「AI（人工知能）脅威論」による情報サービス・ソフトウェア関連株の下落やプライベート・クレジット市場への懸念などから、おおむね横ばいで推移しました。3月には、米国とイスラエルがイランへの軍事作戦を開始し、イランによってホルムズ海峡が事実上封鎖されたことなどから先行きへの懸念が強まり大幅に下落しました。4月以降は、AI・半導体関連株への投資資金集中により急反発し、米国とイランの和平交渉の進展期待を背景に上昇し、当作成期末を迎えました。

○ 為替相場

対円為替相場は、米ドル、ユーロともに上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より方向感のない展開が続きました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高が進行しました。2月は、米国財務長官による強い米ドル政策を支持する発言や、高市首相が日銀の利上げに難色を示したとの報道などを受けて、円安となりました。3月は、中東情勢の緊迫化でリスク回避姿勢が強まり、幅広い通貨に対して米ドルが買われる中、原油価格の急騰によって日本の貿易収支悪化の思惑が強まったことで円安となりました。4月末から5月上旬には、日本が円買いの為替介入を実施したことで、円高が進行しました。5月中旬にはホルムズ海峡の封鎖長期化への懸念による原油高が円安米ドル高要因となり、5月下旬から当作成期末にかけては、米国とイランの戦闘終結期待による市場心理の改善などを背景に、円安となりました。

ユーロもおおむね米ドルと同様の推移となり、対円で上昇しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。

運用にあたっては、「いのち」にまつわる2つのテーマに関連する企業の中から、ESGスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

◆ ポートフォリオについて

当ファンドは、運用にあたって、カンドリアム・エス・シー・エーから助言を受けています。

運用につきましては、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」という2つのテーマに着目し、それぞれのテーマに関連した優れた成長機会を有する企業に投資を行うことで、信託財産の成長をめざしました。当作成期においては、特に「いのちを輝かせる」に関連するサブテーマ「利便性の向上」や、「いのちを守る」に関連するサブテーマ「医療」を中心に投資を行いました。セクター別では、情報技

術セクター、資本財・サービスセクター、ヘルスケアセクター、地域別では、米国や欧州を中心に投資しました。個別銘柄では、ALPHABET INC CLASS A（米国）、NVIDIA CORP（米国）、ASML HOLDING NV（オランダ）など、A I（人工知能）普及の恩恵を受ける企業を中心に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、「いのちを守る」および「いのちを輝かせる」の2つのテーマに関連する企業の株式等に投資を行います。「いのちを守る」というテーマにおいては、医療、食料、環境など、生きていくうえで必要不可欠な分野におけるさまざまな課題を解決する企業に着目します。「いのちを輝かせる」というテーマにおいては、技術革新を通じて、より便利で豊かな生活を実現させる企業に着目します。
運用にあたっては、「いのち」にまつわる2つのテーマに関連する企業の中から、E S Gスクリーニングやファンダメンタルズ分析等を実施することにより銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。幅広い視点から投資を行うことで、さまざまな企業の成長機会を捉え、長期的に良好なパフォーマンスを生み出すことをめざします。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	8円 (8)
有価証券取引税 (株式)	3 (3)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合 計	12

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
株 式

(2025年6月24日から2026年6月22日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内		千株 26 ()	千円 317,581 ()	千株 2.6	千円 73,124
外 国	アメリカ	百株 446.2 (528.6)	千アメリカ・ドル 8,662 (1,570)	百株 1,069.1	千アメリカ・ドル 17,362
	イギリス	百株 340 (△ 507)	千イギリス・ポンド 945 (△ 1,179)	百株 2,005	千イギリス・ポンド 1,023
	スイス	百株 14 ()	千スイス・フラン 442 ()	百株 67.97	千スイス・フラン 534
	デンマーク	百株 — ()	千デンマーク・クローネ — ()	百株 11	千デンマーク・クローネ 417
	ユーロ (アイルランド)	百株 19 ()	千ユーロ 134 ()	百株 35	千ユーロ 280
	ユーロ (オランダ)	百株 4.7 (18.8)	千ユーロ 412 ()	百株 20.7	千ユーロ 254
	ユーロ (ベルギー)	百株 — ()	千ユーロ — ()	百株 44	千ユーロ 495
	ユーロ (フランス)	百株 55.3 (3.71)	千ユーロ 816 ()	百株 20.3	千ユーロ 528
	ユーロ (ドイツ)	百株 42 ()	千ユーロ 987 ()	百株 29	千ユーロ 791
	ユーロ (スペイン)	百株 45 (984)	千ユーロ 87 (33)	百株 1,188	千ユーロ 372
国	ユーロ (その他)	百株 — (△ 10.45)	千ユーロ — ()	百株 254.65	千ユーロ 1,140
	ユーロ (ユーロ 通貨計)	百株 166 (996.06)	千ユーロ 2,437 (33)	百株 1,591.65	千ユーロ 3,862

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
株 式

(2025年6月24日から2026年6月22日まで)

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
AGILENT TECHNOLOGIES INC (アメリカ)		6.5	137,223	21,111	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING (台湾)		5.29	255,704	48,337
COMPASS GROUP PLC (イギリス)		29	134,941	4,653	MICROSOFT CORP (アメリカ)		3.24	227,575	70,239
HOY A		7.1	130,848	18,429	METLIFE INC (アメリカ)		16.4	196,187	11,962
SAP (ドイツ)		3.4	125,604	36,942	EMERSON ELECTRIC (アメリカ)		7.99	175,461	21,960
ABBVIE INC (アメリカ)		3.2	115,702	36,156	NVIDIA CORP (アメリカ)		5.1	144,069	28,248
ダイフク		17.9	115,265	6,439	IDEXX LABORATORIES INC (アメリカ)		1.42	135,339	95,309
NEXTERA ENERGY INC (アメリカ)		7.7	112,498	14,610	MASTERCARD INC CLASS A (アメリカ)		1.48	117,486	79,382
ANALOG DEVICES INC (アメリカ)		2.4	88,990	37,079	ZOETIS INC CLASS A (アメリカ)		7.05	115,748	16,418
ALPHABET INC CLASS A (アメリカ)		2.1	79,988	38,089	ABBOTT LABORATORIES (アメリカ)		5.6	99,611	17,787
KEYSIGHT TECHNOLOGIES INC (アメリカ)		2.4	79,882	33,284	HALEON PLC (イギリス)		147	97,343	662

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
(1) 国内株式

銘 柄		期 首	当 期 末	
		株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
機械 (62.8%)				
SMC		－	1	74,240
ダイフク		－	17.9	130,258
精密機器 (37.2%)				
HOYA		－	4.5	121,387
合 計		千株	千株	千円
	株 数、金 額	－	23.4	325,885
	銘柄数<比率>	－	3銘柄	<4.0%>

(注1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	期首	当	期末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	業 種 等	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
PALO ALTO NETWORKS INC	55.9	46.9	1,349	218,109	情報技術
KEYSIGHT TECHNOLOGIES INC	—	17	618	99,907	情報技術
ABBOTT LABORATORIES	56	—	—	—	ヘルスケア
MOODYS CORP	—	6	270	43,696	金融
INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	45	56	749	121,156	金融
APPLE INC	87	70.9	2,112	341,443	情報技術
CADENCE DESIGN SYSTEMS INC	22.5	8.5	329	53,211	情報技術
SERVICENOW INC	5.4	27	256	41,467	情報技術
BROWN & BROWN INC	—	31	183	29,606	金融
BROADCOM INC	25	27	1,110	179,480	情報技術
CBCE GLOBAL MARKETS INC	17.5	15.5	386	62,394	金融
AGCO CORP	54.5	61.5	699	112,959	資材・サービス
IDEX CORP	21.8	17.8	400	64,700	資材・サービス
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS INC	21	23.9	833	134,730	一般消費・サービス
MARKETAXESS HOLDINGS INC	11	—	—	—	金融
AGILENT TECHNOLOGIES INC	40	98	1,245	201,222	ヘルスケア
NEXTERA ENERGY INC	—	77	667	107,944	公益事業
FISERV INC	30.5	—	—	—	金融
ALPHABET INC CLASS A	72.5	78.7	2,896	468,057	コミュニケーション・サービス
HOME DEPOT INC	16	17	568	91,833	一般消費・サービス
ZOETIS INC CLASS A	70.5	—	—	—	ヘルスケア
ABBVIE INC	—	27	584	94,458	ヘルスケア
ELI LILLY	8.7	5.7	626	101,191	ヘルスケア
LAM RESEARCH CORP	30	26	1,011	163,459	情報技術
S&P GLOBAL INC	18.4	13.5	554	89,646	金融
METLIFE INC	164	—	—	—	金融
MCKESSON CORP	—	3.6	270	43,668	ヘルスケア
XYLEM INC	76	64	713	115,235	資材・サービス
ARGENX SE ADR	—	4	351	56,735	ヘルスケア
STRYKER CORP	13.8	11.8	363	58,693	ヘルスケア
PROCTER & GAMBLE	46.8	40.8	613	99,149	生活必需品
AMERICAN WATER WORKS INC	48.5	35.8	447	72,356	公益事業
ACCENTURE PLC CLASS A	22	11.5	147	23,783	情報技術
SYSCO CORP	69	58	456	73,763	生活必需品
ON SEMICONDUCTOR CORP	67	57	693	112,026	情報技術
SEAGATE TECHNOLOGY HOLDINGS PLC	—	2	214	34,589	情報技術
SALESFORCE INC	31	10	151	24,527	情報技術
UNITEDHEALTH GROUP INC	11.5	9.2	368	59,611	ヘルスケア
WASTE MANAGEMENT INC	37	33.3	714	115,482	資材・サービス
TRACTOR SUPPLY	97.5	—	—	—	一般消費・サービス
VISA INC CLASS A	36.7	26.9	880	142,252	金融
NVIDIA CORP	188	137	2,886	466,450	情報技術
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	14.9	16.4	761	123,132	ヘルスケア
MASTERCARD INC CLASS A	29.8	19.8	969	156,717	金融
TETRA TECH INC	128	110	300	48,635	資材・サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	83.1	30.2	1,395	225,529	情報技術
LINDE PLC	11.2	11.5	588	95,177	素材
ANALOG DEVICES INC	—	21.5	934	150,948	情報技術

銘柄	期首	当	期末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	業 種 等	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
ADVANCED MICRO DEVICES INC	—	11	591	95,522	情報技術
EMERSON ELECTRIC	79.9	—	—	—	資材・サービス
TE CONNECTIVITY PLC	30	12	261	42,204	情報技術
DOVER CORP	14.7	10.7	239	38,657	資材・サービス
MICROSOFT CORP	83.2	56.8	2,154	348,246	情報技術
MICRON TECHNOLOGY INC	26	5	566	91,626	情報技術
COMPASS GROUP PLC	—	428	1,378	222,710	一般消費・サービス
IDEXX LABORATORIES INC	14.2	—	—	—	ヘルスケア
BOSTON SCIENTIFIC CORP	—	49	221	35,862	ヘルスケア
アメリカ・ドル 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	2,133 45銘柄	2,038.7 49銘柄	37,091 <73.3%>	
(イギリス)	百株	百株	千イギリス・ポンド	千円	
HALEON PLC	1,470	—	—	—	ヘルスケア
SMURFIT WESTROCK PLC	56	56	188	40,179	素材
UNILEVER PLC	—	42	183	39,145	生活必需品
INFORMA PLC	499	—	—	—	コミュニケーション・サービス
ASTRAZENECA PLC	30	38	502	107,417	ヘルスケア
COMPASS GROUP PLC	253	—	—	—	一般消費・サービス
イギリス・ポンド 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	2,308 5銘柄	136 3銘柄	874 < 2.3%>	
(スイス)	百株	百株	千スイス・フラン	千円	
ROCHE PS PAR AG	—	14	447	89,490	ヘルスケア
NESTLE SA	50.97	—	—	—	生活必需品
STRAUMANN HOLDING AG	38	21	219	43,926	ヘルスケア
スイス・フラン 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	88.97 2銘柄	35 2銘柄	667 < 1.6%>	
(デンマーク)	百株	百株	千デンマーク・クローネ	千円	
NOVO NORDISK CLASS B	73	62	1,816	45,007	ヘルスケア
デンマーク・クローネ 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	73 1銘柄	62 1銘柄	1,816 < 0.6%>	
ユーロ(アイルランド)	百株	百株	千ユーロ	千円	
KERRY GROUP PLC	97.5	81.5	610	113,040	生活必需品
国 小 計	株数、金額 銘柄数<比率>	97.5 1銘柄	81.5 1銘柄	610 < 1.4%>	
ユーロ(オランダ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ASML HOLDING NV	10.2	13	2,155	399,088	情報技術
国 小 計	株数、金額 銘柄数<比率>	10.2 1銘柄	13 1銘柄	2,155 < 4.9%>	
ユーロ(ベルギー)	百株	百株	千ユーロ	千円	
KBC GROEP NV	44	—	—	—	金融
国 小 計	株数、金額 銘柄数<比率>	44 1銘柄	— —	— < —>	
ユーロ(フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	
LAIR LIQUIDE SOCIETE ANONYME POUR	39.17	40.88	671	124,271	素材
SCHNEIDER ELECTRIC	25.3	34.6	1,000	185,329	資材・サービス
LOREAL SA	12	10	380	70,386	生活必需品
COMPAGNIE DE SAINT GOBAIN SA	—	30	234	43,476	資材・サービス
ESSILORLUXOTTICA SA	8.4	8.4	145	26,995	ヘルスケア

銘柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
HERMES INTERNATIONAL	百株 2.3	百株 2	千ユーロ 344	千円 63,757	一般消費財・サービス
国 小 計	株数、金額 銘柄数<比率>	87.17 5銘柄	125.88 6銘柄	2,776 < 6.3%>	
ユーロ(ドイツ)	百株 47.7	百株 26.7	千ユーロ 732	千円 135,721	資本財・サービス 情報技術
SIEMENS N AG SAP	— —	34 34	456 456	84,456 84,456	
国 小 計	株数、金額 銘柄数<比率>	47.7 1銘柄	60.7 2銘柄	1,188 < 2.7%>	
ユーロ(スペイン)	百株 577	百株 418	千ユーロ 870	千円 161,235	公益事業
IBERDROLA SA	— —	— —	— —	— —	
国 小 計	株数、金額 銘柄数<比率>	577 1銘柄	418 1銘柄	870 < 2.0%>	
ユーロ(その他)	百株 48.1	百株 —	千ユーロ —	千円 —	素材 資本財・サービス 生活必需品
DSM FIRMENICH AG RELX PLC	— 123	— —	— —	— —	
UNILEVER PLC	94 —	— —	— —	— —	
国 小 計	株数、金額 銘柄数<比率>	265.1 3銘柄	— —	— < —>	
ユーロ通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,128.67 13銘柄	699.08 11銘柄	7,602 <17.2%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	5,731.64 66銘柄	2,970.78 66銘柄	7,766.907 <94.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < —>内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年 6月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	8,092,792	98.0
コール・ローン等、その他	164,366	2.0
投資信託財産総額	8,257,159	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに資産運用業協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月22日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝161.60円、1イギリス・ポンド＝213.60円、1スイス・フラン＝199.88円、1デンマーク・クローネ＝24.78円、1ユーロ＝185.18円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（7,888,321千円）の投資信託財産総額（8,257,159千円）に対する比率は、95.5%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年 6月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	8,329,448,164円
コール・ローン等	159,851,220
株式(評価額)	8,092,792,923
未収入金	72,289,116
未収配当金	4,514,905
(B) 負債	147,914,150
未払金	72,714,150
未払解約金	75,200,000
(C) 純資産総額(A－B)	8,181,534,014
元本	5,128,505,881
次期繰越損益金	3,053,028,133
(D) 受益権総口数	5,128,505,881口
1万口当り基準価額(C／D)	15,953円

* 期首における元本額は6,199,345,729円、当作成期間中における追加設定元本額は176,064,990円、同解約元本額は1,246,904,838円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 グローバル・ライフ株式ファンド（資産成長型） 3,699,688,272円
 グローバル・ライフ株式ファンド（予想分配金提示型） 1,428,817,609円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,953円です。

■損益の状況

当期 自2025年 6月24日 至2026年 6月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	90,194,834円
受取配当金	89,723,365
受取利息	468,286
その他収益金	3,183
(B) 有価証券売買損益	1,996,908,006
売買益	2,868,609,102
売買損	△ 871,701,096
(C) その他費用	△ 803,712
(D) 当期損益金(A + B + C)	2,086,299,128
(E) 前期繰越損益金	1,413,089,158
(F) 解約差損益金	△ 514,895,162
(G) 追加信託差損益金	68,535,009
(H) 合計(D + E + F + G)	3,053,028,133
次期繰越損益金(H)	3,053,028,133

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。